

キャラクター名  
田辺 寛

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン		ワークス	防衛隊員	カヴァー	開発技師
	オプショナル		年齢	34	性別	男
覚醒	素体	衝動	妄想	初期侵食率	32 %	
出自	結社の一員	経験	出世	邂逅	黒崎 剛道	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
強化義体+特殊装甲義肢	白兵	3r+1	9	16		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化義体		10			
パワーアシストアーマー	37	15			シーン間判定+2D、攻撃力+5、シナリオ1回
合計装甲:		25	合計回避:		0

所持品	
ブラックマーケット	
デモンズシード	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[[11] 秘密兵器/トイボックス	P	N		
黒崎 剛道	P 連帯感	N 嫌悪		
ロボットもの	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P:	5
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンバットシステム	3	3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果: 白兵判定+ (Lv+1) D								
ブラックマーケット	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常備化ポイント+Lv×10								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	対決	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
強化義体	8							
効果: 下記参照								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

希望者がいなかったため仕方なくオーヴァードに覚醒し、身体の6割を義体に売り渡すことで「アイアンマン」になったストレンジャーズの兵器開発局員。幼い頃の機械オタク・ロボットオタクで将来はそっち方面の業界に進むことを夢見ていたが、一族親戚皆が皆警察官の家系である田辺家の一員である彼には将来は警察に務めるという未来を拒否する勇気も気概もなく、趣味の範疇で機械いじりを楽しみながら、するすると警察官の道へと進んでいった。そんな半生のある日、突如黒崎剛道に声を掛けられストレンジャーの一員として対オーヴァードの兵器を開発することを命ぜられる。警察官として持ち合わせるはずの正義感もストレンジャーズとして持ち合わせるはずのジャームやオーヴァードに対する敵愾心もない彼は、ただただ未知のウイルスを用いた兵器開発に打ち込める環境に狂乱し、兵器開発局員としての研究に没頭する。兵器開発に興味趣向をふんだんに盛り込み続けたある日、ついに憧れのアメコミヒーローである「アイアンマン」を再現するコスプレ用パワードアーマーと、アーマーの素質を100%引き出す人体改造メゾットを確立させた。しかしながら、当時のストレンジャーズの隊員には、身体の殆どを手放しても強くなりた、というかアイアンマンになりたいと志願するもの好きな奴はいなかった。「それなら……僕が着ますか、うん」と呟いた彼は、何のためらいもなくレネゲイドウイルスを吸引し、四肢や胴体を機械と挿げ替えて見事一線級の戦闘力を宿したアイアンマンになった。

典型的なナード気質で警察全体に漂う体育会系のノリが苦手。開発局で黙々と兵器を開発する時間が何よりも至福。とても広くそれなりに浅くロボットを愛しており、古今東西のメカが好き。その代わり何かひとつの作品を溺愛信仰しているという訳ではなく、アイアンマンもそんなに好きじゃない。どちらかと言うとその興味はフィクションの機械を現実でどのように再現するかに向いており、小学生にして下手な工業大学生よりも卓越した技術と経験を持ち合わせており、プラモデルの内部に機械駆動機構をねじ込んだラジコン操作可能なニューガンダム(10秒なら浮遊も可)は商品化してもおかしくないレベルであった。オーヴァードに覚醒してからその性格は変わらず、最近ではどう考えても物理学的に存在しなく、現実再現不可能だったビームサーベルもエンジェルハローの能力を駆使してどうにか開発しようと思気込んでいる。